

# 企業連携に求められる手法と 農泊の事業化

トヨタ白川郷自然学校の事例を中心に



愛知県農泊ネットワーク促進セミナー

2023.1.17

山田俊行

(トヨタ白川郷自然学校 学校長)

# 自己紹介

- 鹿児島県出身
- 岐阜県白川村在住
- 子供3人、妻1人、熱帯魚15匹
- 学生時代はニホンガルの生態と教育心理学を学ぶ
- 貧乏ツリングでのキャンプと子供キャンプのアルバイト

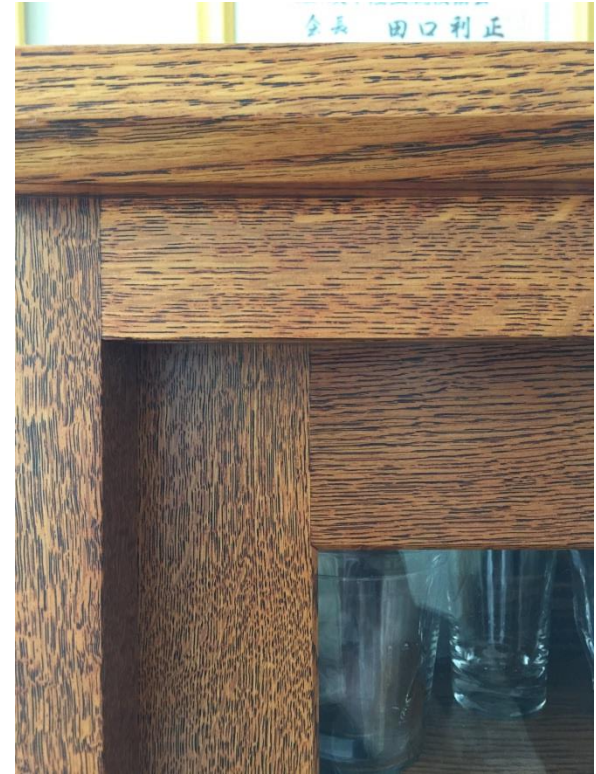


# 自己紹介

- 1997年 森林たくみ塾入塾（高山市）  
JEEF主催環境教育インストラクター養成講座  
椅子づくりセミナー、子供キャンプ  
コメ作り、広葉樹の苗づくり、演習林実習
- 1998年2月 ボルネオ島エコツアーガイド内定するも現地暴動により断念
- 1999年4月 森林たくみ塾入社



# 私が塾生時に作った食器棚



塗装：漆  
接着剤：膠  
ガラスに和紙（山田作の山中和紙）



# 自己紹介

- 2001年～2004年  
森林たくみ塾スタッフとして  
トヨタ白川郷自然学校立ち上げ担当
- 2005年 トヨタ白川郷自然学校開校  
(白川村) チーフインタープリター
- 2011年 安藤百福記念自然体験活動指導者  
養成センターへ出向（～2013年）
- 2015年 トヨタ白川郷自然学校 学校長

## 関連情報

# 就任している委員など

- NPO日本ロングトレイル協会 理事
- 自然体験活動推進協議会（CONE）副代表理事
- Japan Outdoor Leaders Award (JOLA) 運営委員会委員長
- NPO環白山保護利用管理協会 理事
- 安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター諮問委員
- 国際自然環境アウトドア専門学校教育課程編成委員
- 岐阜県森林サービス産業推進協議会設立準備会座長
- ぎふの田舎へ行こう推進協議会 幹事
- 川と山のぎふ自然体験活動の集い 実行委員
- 東海インタープリターネットワーク 世話人
- ひだの未来の森づくりネットワーク幹事
- 白川村立白川郷学園学校運営協議会 会長
- 白川村伝統的建造物保存地区審議会 委員
- 白川郷まるごと体験協議会 副会長
- 白山白川郷トレイルクラブ事務局長
- 合掌街道実行委員会副委員長
- 白山林道地元協力会委員
- 白山遭難対策協議会委員
- 白川村商工会 役員
- 白水の滝調査委員会委員
- 白川村区長会
- 鳩谷下組焼き鳥の会世話人 など



## 関連情報

# 就任している委員など

- NPO日本ロングトレイル協会 理事
- 自然体験活動推進協議会（CONE）副代表理事
- Japan Outdoor Leaders Award (JOLA) 運営委員会委員長
- NPO環白山保護利用管理協会 理事
- 安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター 諮問委員

## 環境NGO・NPO関連

- 自然体験活動推進協議会 編集委員
- 岐阜県森林サービス産業推進協議会設立準備会座長
- ぎふの田舎へ行こう推進協議会 幹事
- 川と山のぎふ自然体験活動の集い 実行委員
- 東海インタープリターネットワーク 世話人
- ひだの未来の森づくりネットワーク 幹事

- 白川村立白川郷学園学校運営協議会 会長
- 白川村伝統的建造物保存地区審議会 委員
- 白川郷まるごと体験協議会 副会長
- 白山白川郷トレイルクラブ事務局長
- 合掌街道実行委員会副委員長
- 白山林道地元協力会委員
- 白山遭難対策協議会委員
- 白川村商工会 役員
- 白水の滝調査委員会委員
- 白川村区長会
- 鳩谷下組焼き鳥の会世話人 など

## 関連情報

# 就任している委員など

- NPO日本ロングトレイル協会 理事
- 自然体験活動推進協議会（CONE）副代表理事
- Japan Outdoor Leaders Award (JOLA) 運営委員会委員長
- NPO環白山保護利用管理協会 理事
- 安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター諮問委員
- 国際自然環境アウトドア専門学校教育課程編成委員
- 岐阜県森林サービス産業推進協議会設立準備会座長
- ぎふの田舎へ行こう推進協議会 幹事
- 川と山のぎふ自然体験活動の集い 実行委員
- 東海インタープリターネットワーク 世話人
- ひだの未来の森づくりネットワーク幹事

- 白川村立白川郷学園学校運営協議会 会長
- 白川村伝統的建造物保存地区審議会 委員
- 白川郷まるごと体験協議会 副会長
- 白山白川郷トレイルクラブ事務局長
- 合掌街道実行委員会副委員長
- 白山林道地元協会の委員
- 白山遭難対策協議会委員
- 白川村商工会 役員
- 白水の滝調査委員会委員
- 白川村区長会
- 鳩谷下組焼き鳥の会世話人 など

## 白川村関連



## 関連情報

# 就任している委員など

- NPO日本ロングトレイル協会 理事
- 自然体験活動推進協議会（CONE）副代表理事
- Japan Outdoor Leaders Award (JOLA) 運営委員会委員長
- NPO環白山保護利用管理協会 理事
- 安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター諮問委員
- 国際自然環境アウトドア専門学校教育課程編成委員
- 岐阜県森林サービス産業推進協議会設立準備会座長
- ぎふの田舎へ行こう推進協議会 幹事
- 川と山のぎふ自然体験活動の集い 実行委員
- 東海インタープリターネットワーク 世話人
- ひだの未来の森づくりネットワーク幹事
- 白川村立白川郷学園学校運営協議会 会長
- 白川村伝統的建造物保存地区審議会 委員
- 白川郷まるごと体験協議会 副会長
- 白山白川郷トレイルクラブ事務局長
- 合掌街道実行委員会副委員長
- 白山林道地元協力会委員
- 白山遭難対策協議会委員
- 白川村商工会 役員
- 白水の滝調査委員会委員
- 白川村区長会
- 鳩谷下組焼き鳥の会世話人 など

こういうつながりが農泊事業推進時に役に立つのではないかと思います

# 白川村の概要

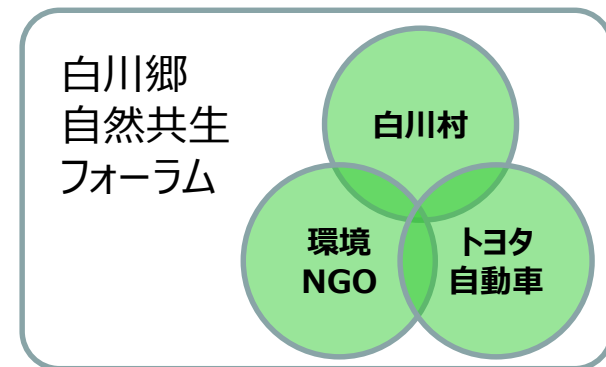
- 世界遺産を抱える観光地
  - 人口1500人に年間200万人（2019年）
  - 高齢化率 32.85%
- 森林率
  - 95.7%
  - 白山国立公園の白水の滝、原生林
- 一極集中を解消したい
  - 世界遺産白川郷の観光がほとんど
  - 豊かな森林を利用する人はわずか
  - 観光以外の目的での来村を増やしたい



ではまずは・・・

# トヨタ白川郷自然学校の紹介

NPO法人白川郷自然共生フォーラムが運営業務受託



「共生」を心がけた運営

そもそも

全国には約3700の  
自然学校があります

# 自然学校とは 自然の中、アウトドアにて 人づくりを行うところ

子どもには人間教育を、大人には活力を



# Q.なぜ自然学校が必要なのか

## A.自然体験を「補給」しなければならない

### 現代社会だから

- ITの進化（VR、Metaverse、AI等）でリアル体験の機会が減少
- この流れは当分止まる気配なし
- 一人ひとりの実感・納得・本音を確保する社会システムが必要。特に子供にとって
- そのひとつが体験教育の促進
- 特に**自然体験教育はすべての学びの基盤づくりに貢献**
- 大人にとっても自然体験は活力や癒しを得られる場
- **自然体験を「補給」することは現代社会への処方薬**

# トヨタ環境チャレンジとの関わり



CHALLENGE 1

新車CO<sub>2</sub>ゼロ  
チャレンジ



CHALLENGE 2

ライフサイクルCO<sub>2</sub>ゼロ  
チャレンジ



CHALLENGE 3

工場CO<sub>2</sub>ゼロ  
チャレンジ

# TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



CHALLENGE 4

水環境インパクト最小化  
チャレンジ



CHALLENGE 5

循環型社会システム構築  
チャレンジ



CHALLENGE 6

人と自然が共生する  
未来づくりへのチャレンジ



① “CO<sub>2</sub>ゼロ”を成し遂げる「ゼロへのチャレンジ」



② “プラスの世界”を成し遂げる「プラスへのチャレンジ」



## チャレンジ 6 人と自然が共生する未来づくり

- ・地域をつなぐ
- ・世界をつなぐ
- ・未来へつなぐ「Toyota ESD Project」



# 未来へつなぐ「Toyota ESD Project」

## 「次世代のために企業ができること」


- ・従業員や将来を担う子供たちを中心にサステイナブルな人材育成貢献

### トヨタ白川郷自然学校



トヨタ白川郷自然学校は  
「チャレンジ6・ESDプロジェクト」の重要な活動のひとつ



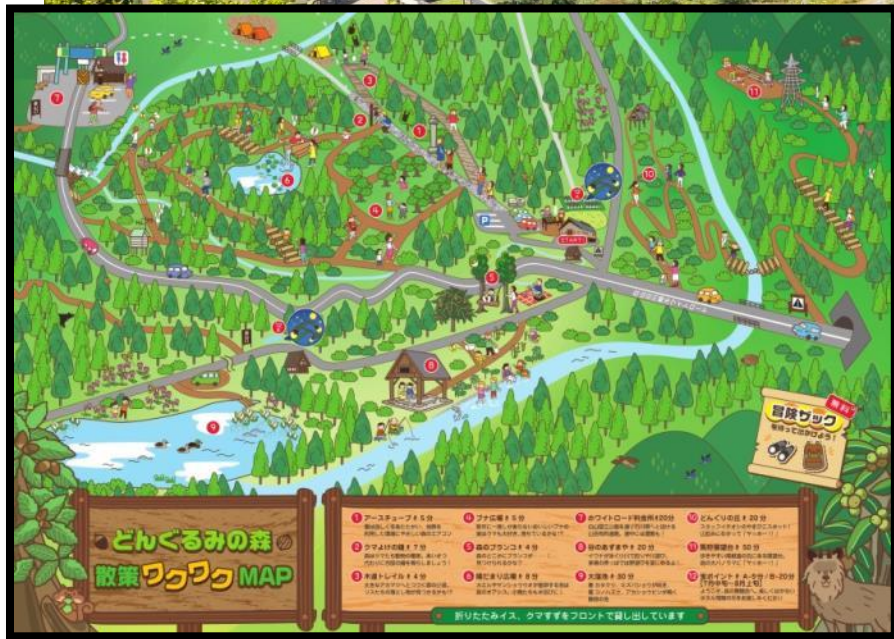
An aerial photograph of the Toyota Shirogawa Nature School campus. The school buildings are modern, multi-story structures with dark roofs, situated in a lush green valley surrounded by dense forests. A winding road leads through the campus. The text is overlaid on the top left of the image.

**トヨタ白川郷自然学校開校の目的**  
**トヨタのCSR活動（ESDプロジェクト）の一環。**  
**白川村の自然の中で一流の教育と感動を提供し、**  
**その社会的意義を広く発信すること**

**1973年 集団離村の集落を取得**  
**2005年4月 開校**



- 敷地172ha
- ほとんどが山林
- 宿泊100名、研修室、ホール、温泉
- 散策路、テントサイト、合掌家屋



Wild and Smile  
天気が良い日は外へ出よ！

まとめ（少しだけ）

## トヨタESDプロジェクト

「未来へつなぐ」地域に適した**サステイナブル人材**の育成を促進

## サステイナブル人材とは

すべての人々が心身ともに**健やかに生きながらえる社会づくりに貢献できる人**。急激に変化する社会環境（AI、高齢化、労働環境、社会保障）と地球環境のなかで「**それでも人生にイエスと言う**」人。

## 自然學校が目指す人物像

変化と多様性を尊重し、自身のあらゆる行いと意思決定に主体性を持ち、日々誠実かつ前向きな人。

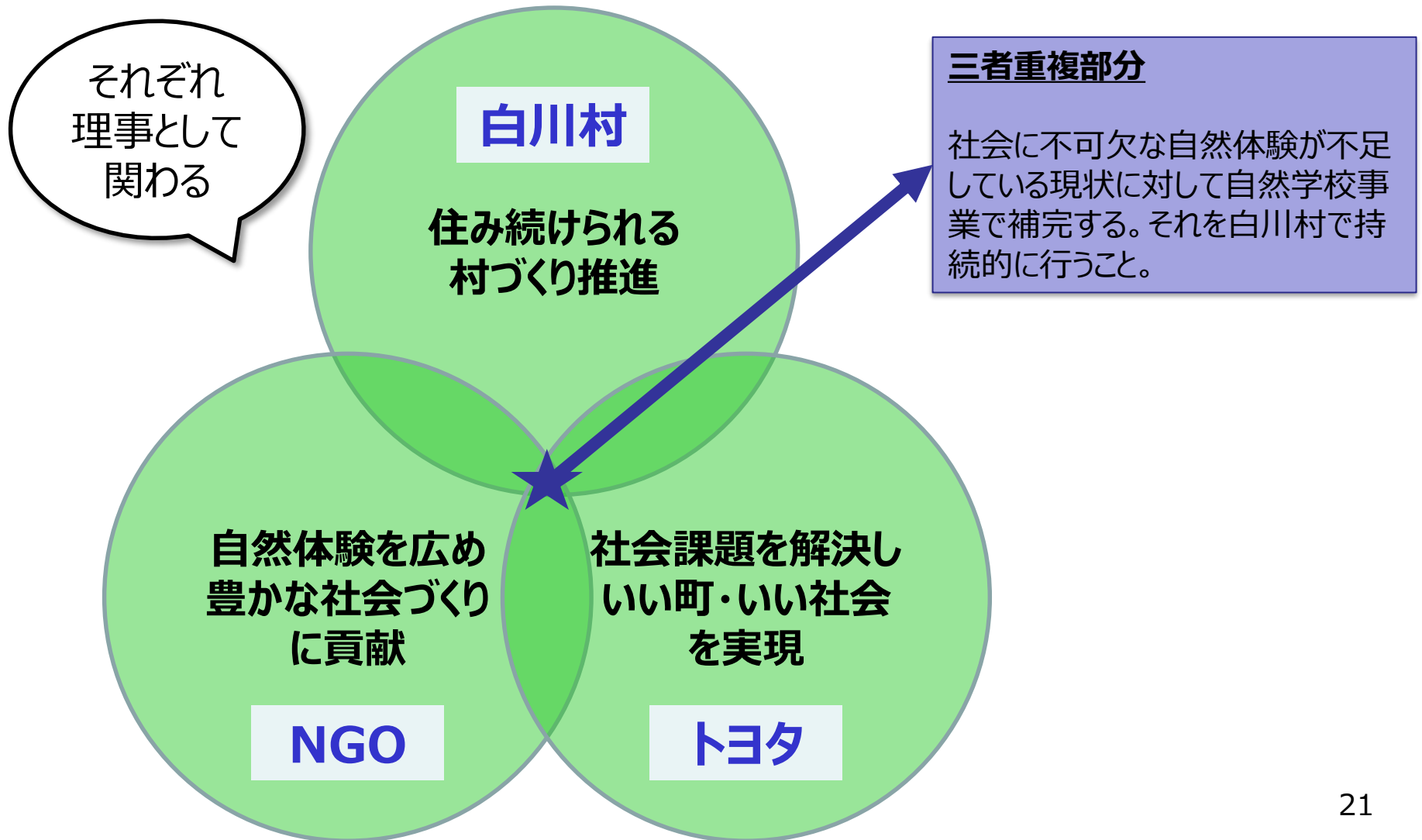
## そのための共育（人間教育）を実施する

### キャンプの特徴

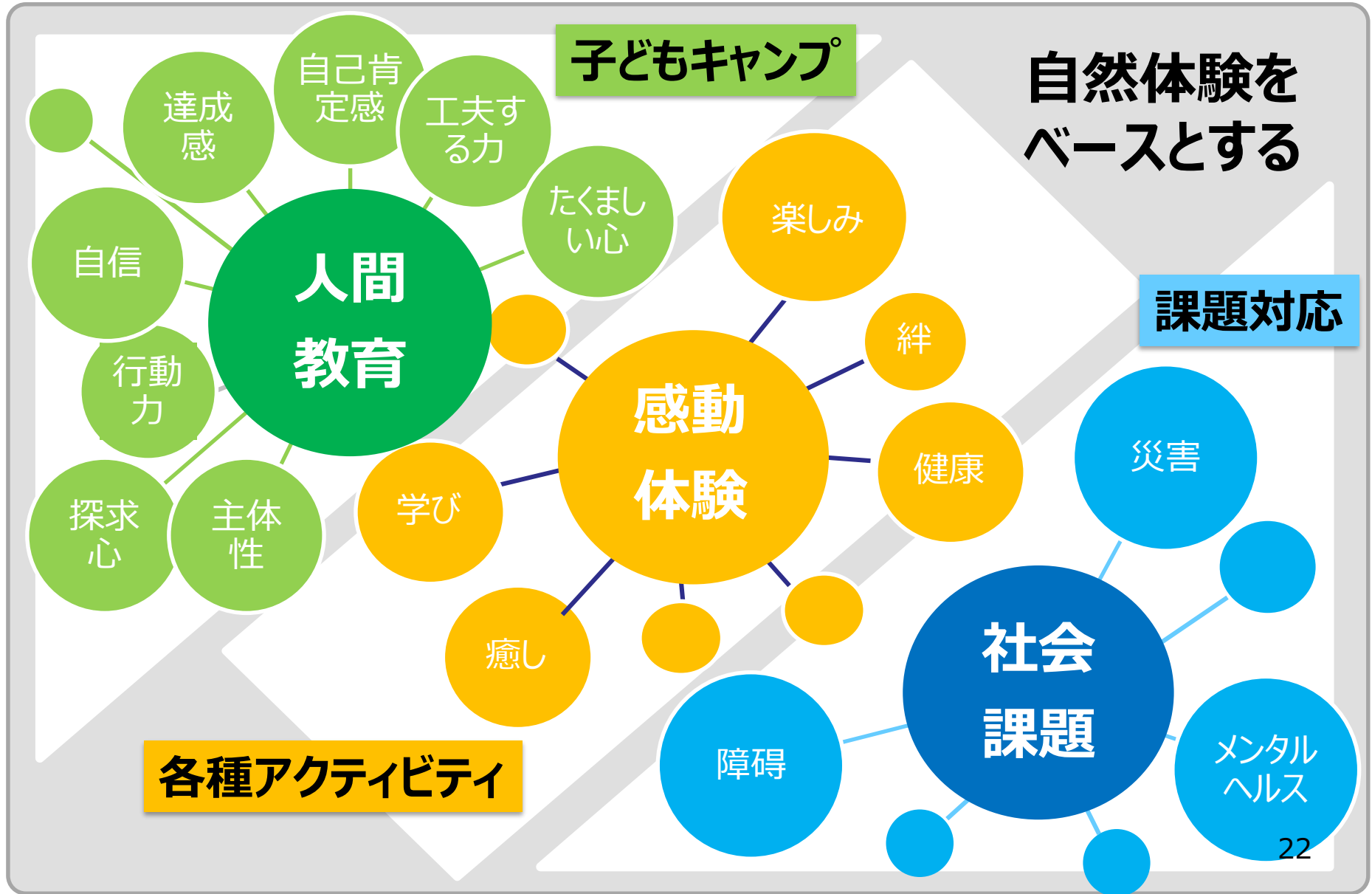
白川村の自然環境を舞台に、多様な地域の仲間、多様な学年、多様な個性、多様な感情、多様なフィールド、多様な気候、多様なアクティビティの中で、一人ひとりの存在が尊重される共同生活体験。



# 運営に関わるそれぞれの立場の意図



# 主催事業の三本柱



# 子どもキャンプ

人間教育





# 家族・大人向けアクティビティ

感動体験



# 冬のアクティビティ

感動体験





大学生対象

# SDGs担い手育成講座

課題対応





# 施設紹介 (客室)



# 施設紹介



# 施設紹介



# 事例 1 : 企業研修について

- 毎年30件ほど受け入れ
  - 日帰り～4泊5日
  - 1泊2日が最多（約80%）
- 内容
  - **自然や森林や山を活用することが前提**
  - 社員のコミュニケーション力向上
  - リーダーシップやメンバーシップについて
  - 合意形成について
  - 社員間の交流（福利厚生） 等



一人では解決できない課題に挑戦

コミュニケーション力  
リーダーシップ  
メンバーシップ





互いの協力が必須となる課題

コミュニケーション力  
団結力  
達成感





同じ目標（登頂）を共有し達成すること

達成感・団結力  
チームワーク  
リーダーシップ





野良仕事を活用することも



達成感・団結力  
チームワーク  
社会貢献



## 雪上での課題も

コミュニケーション力  
チームワーク  
リーダーシップ



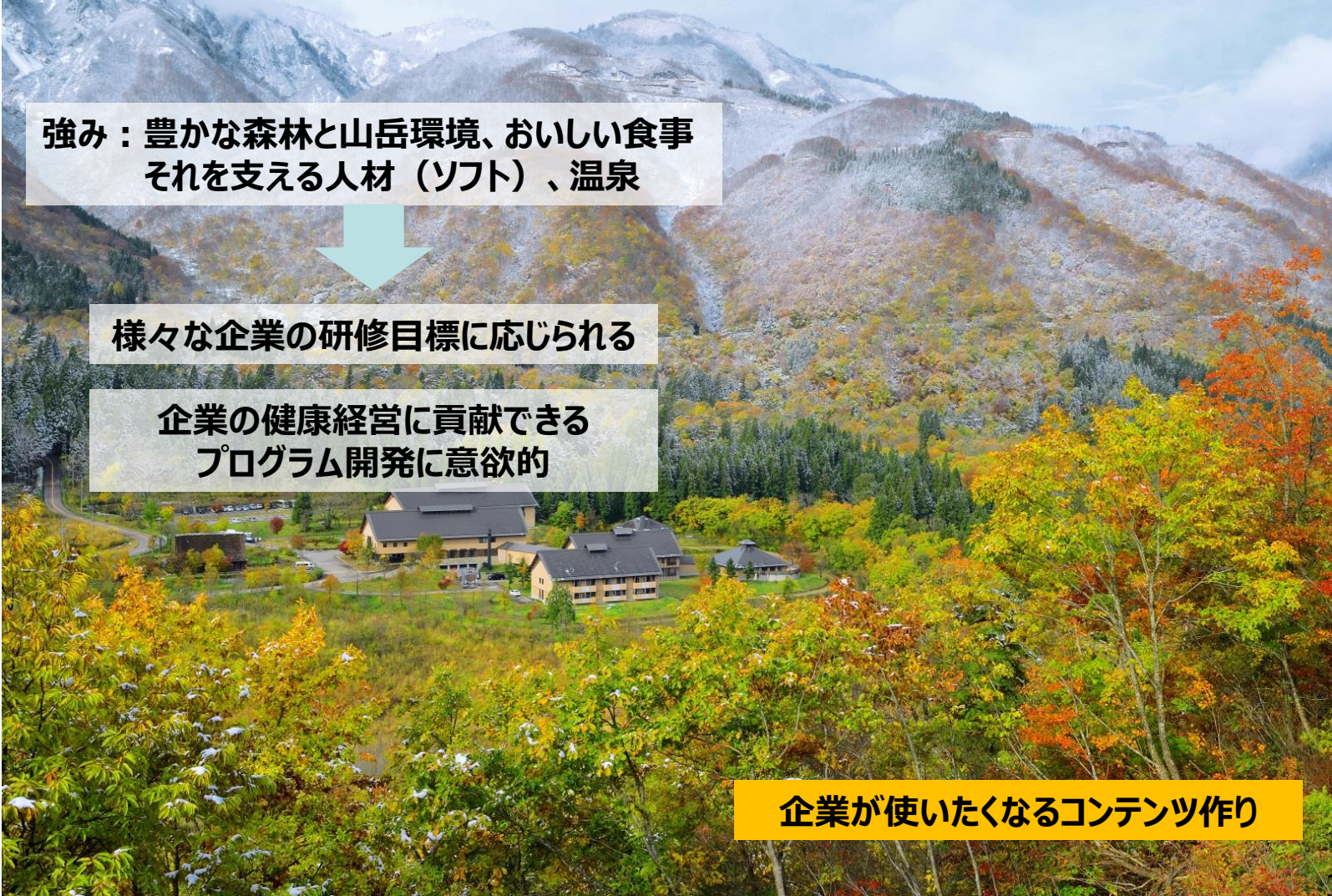
雪上オリエンテーリング

コミュニケーション力  
チームワーク  
リーダーシップ





# トヨタ白川郷自然学校の強み



**強み：豊かな森林と山岳環境、おいしい食事  
それを支える人材（ソフト）、温泉**

**様々な企業の研修目標に応じられる**

**企業の健康経営に貢献できる  
プログラム開発に意欲的**

**企業が使いたくなるコンテンツ作り**



# 事例 2 : 白川村における 健康経営プログラム

エビデンス  
で推す

- クアオルト健康ウォーキング®を指導できる人材がいる
- 運動・栄養・休養をトータルに提供することができる施設と森林と人材がそろっている
- コーディネイトできる人材がいることで、様々なニーズに応えられる
- 五感を解き放つ自然ガイドプログラムがある  
クアオルト健康ウォーキング®と同時に自然ガイドも行える

# スケジュール例

時間	内容
<b>1日目</b> 13 : 00	集合 ミニレクチャー クアオルト健康ウォーキング®① 夕食 パジャマヨガ
<b>2日目</b>     15 : 00	早朝ヨガ クアオルト健康ウォーキング®② 選択アクティビティ 保健師によるレクチャー 解散





クアオルト健康ウォーキング®



クアオルト健康ウォーキング®





ローカロリーフレンチを開発  
800kcal以下



眠る前にヨガでリラックス





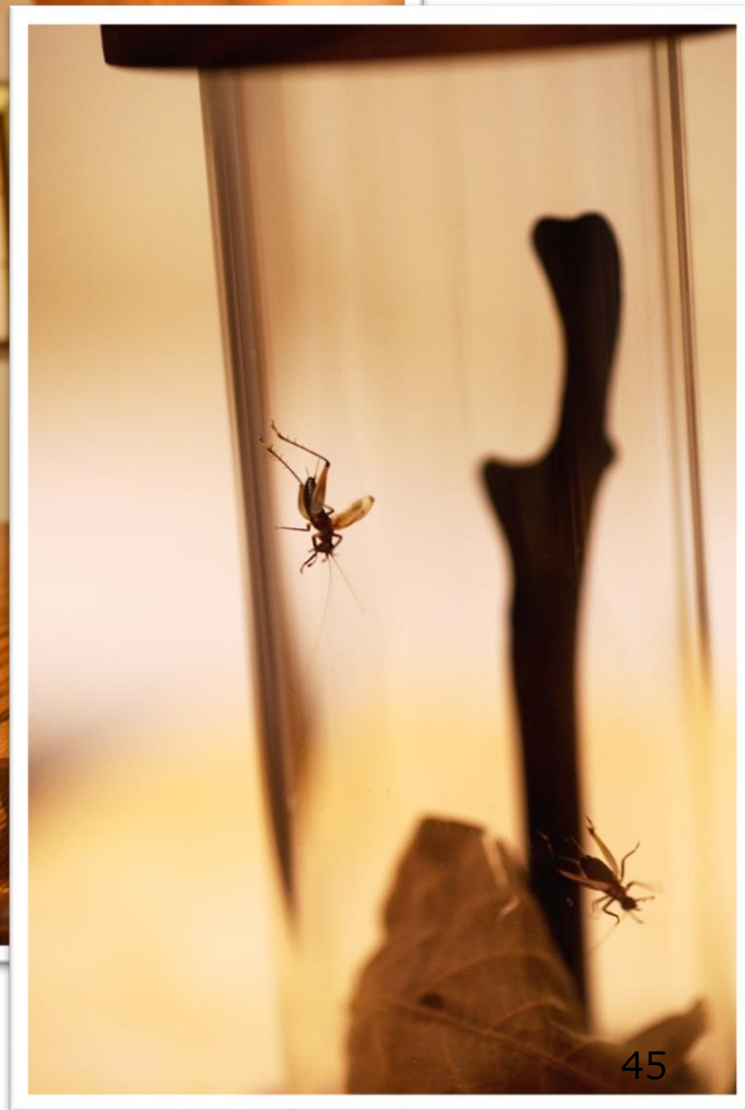
## 保健師によるミニレクチャー



鳴く虫のレンタル



ヤマトヒバリの鳴き声を愛でながら眠る





# 測定項目（1）

## 1) 精神健康状態の評価

– 自覚的健康状態 (Visual Analog Scale 0-10)

– 気分状態尺度

主観的回復感 ROS-J : Restorative Outcome Scale 日本語版

主観的活力感 SVS-J : Subjective Vitality Scale 日本語版

POMS2 : Profile of Mental Status 2

– 不安抑うつ尺度 K6

– 人生満足度尺度 SWLS : Satisfaction With Life Scale

# 測定項目（2）

## 2) 睡眠状態の評価

- アテネ不眠尺度
- 睡眠測定

(脈波解析を用いた腕時計型睡眠測定計を使用)

## 3) 自律神経バランスの評価

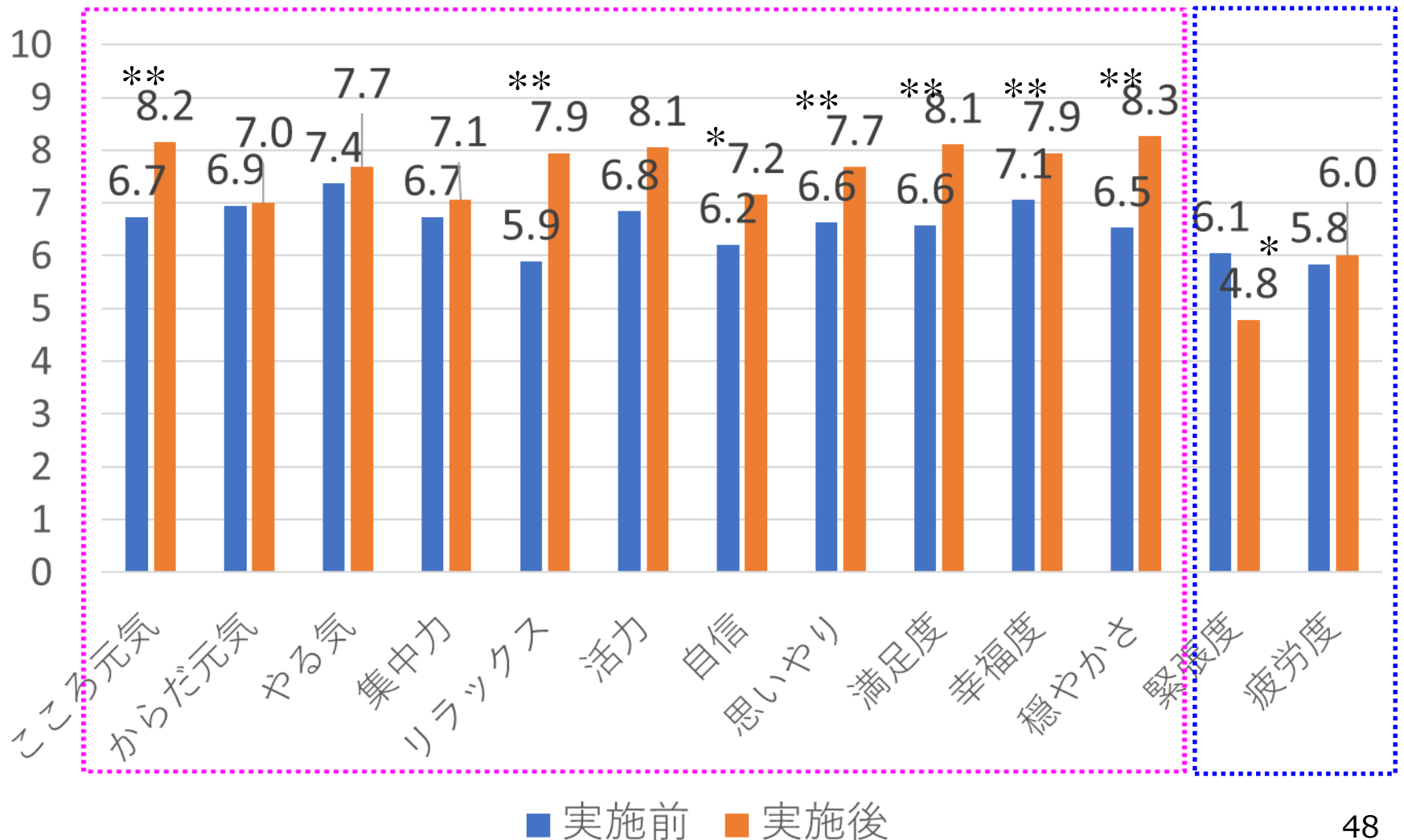
- プログラム中の5ポイントで測定、silmeeを使用

## 4) 生活習慣（行動変容）の評価

- オリジナルの行動変容尺度（1 - 5 : 10項目）

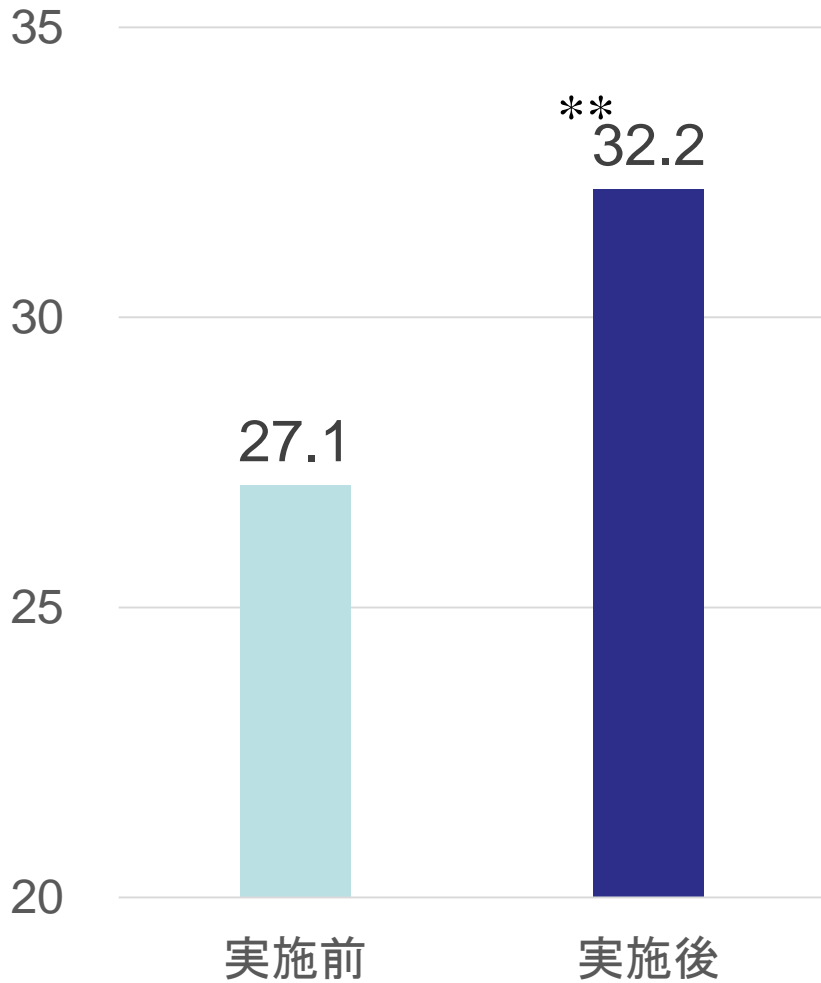


# 自覚的健康状態 (Visual Analog Scale)



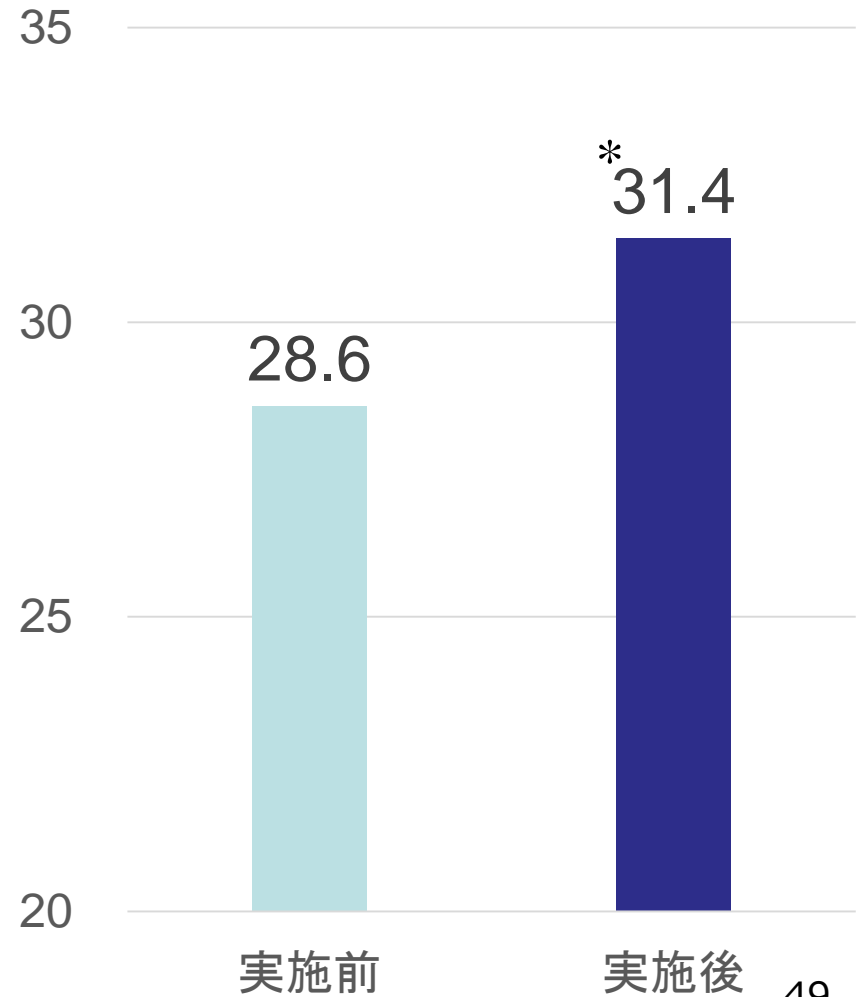
# 主觀的回復感

ROS (7-42)

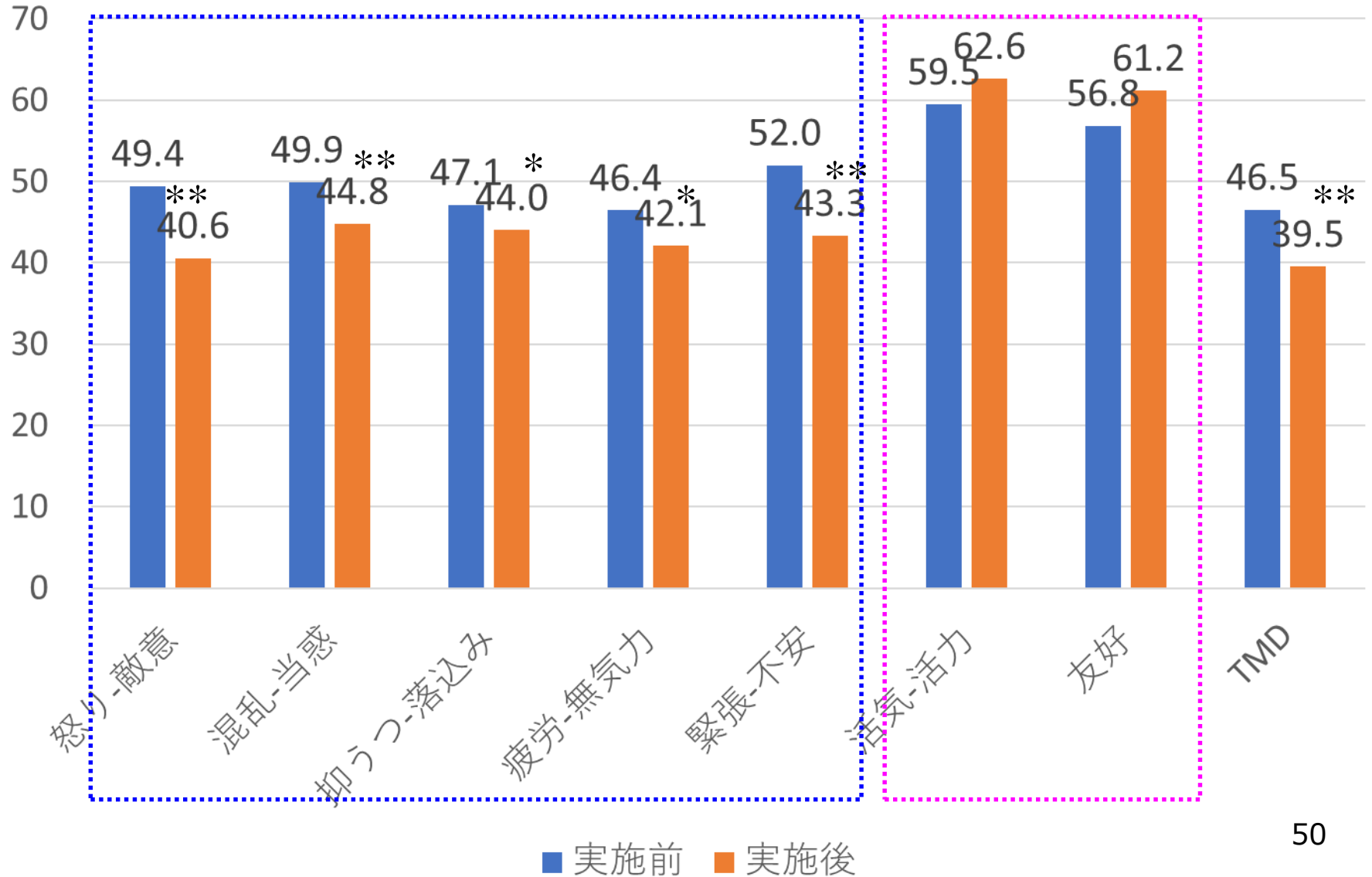


# 主觀的活力感

SVS (7-42)

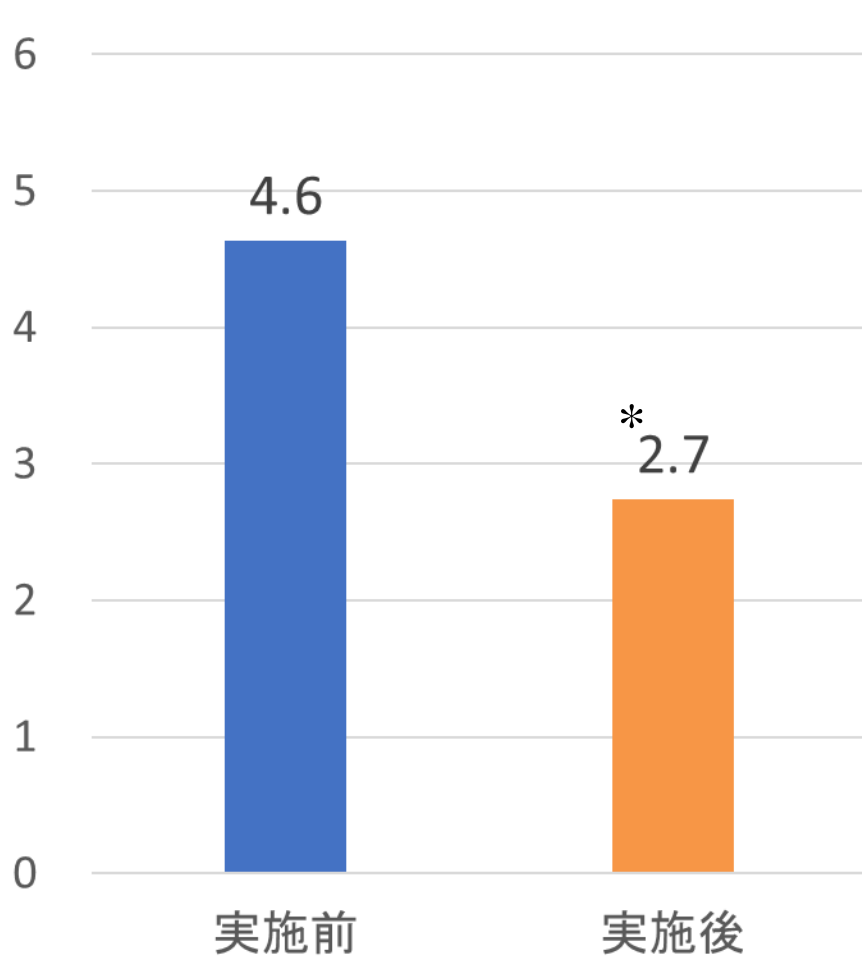


# Profile of Mood Status 2 : POMS2 T得点

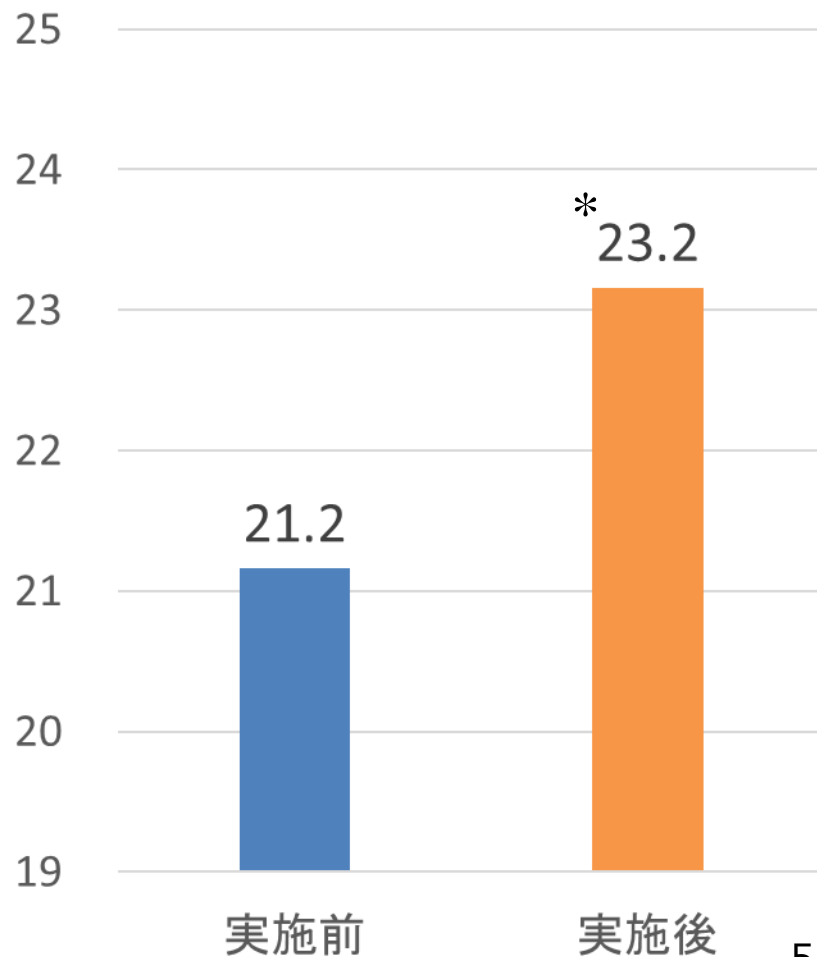




# 不安抑うつ尺度 (0-24)

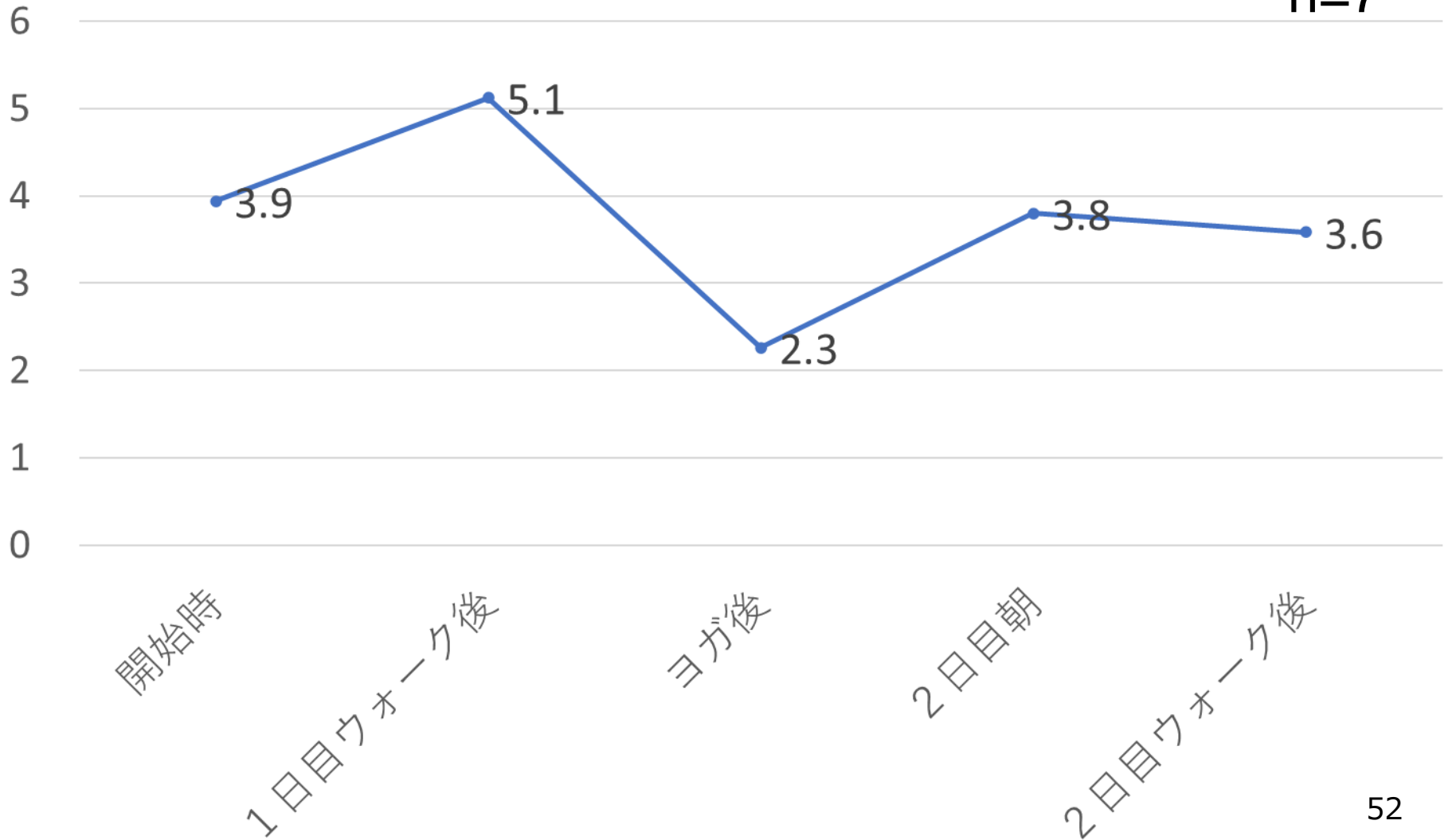


# 人生満足度尺度 (5-35)



# 自律神経(交感神経LF/HF)

n=7



# 測定結果まとめ（1）

## 1）精神健康尺度

- 自覚的健康状態（こころの元気、リラックス、自信、思いやり、満足度、幸福度、穏やかさ）の有意な向上
- 主観的回復感ROS得点、主観的活力感SVS得点の有意な向上
- POMS2 ネガティブ感情得点の有意な低下
- 不安抑うつ尺度得点の有意な低下
- 人生満足度尺度得点の有意な向上



# 測定結果まとめ（2）

## 2) 睡眠、自律神経測定

- プログラム 2 日間の睡眠において、1 日目睡眠効率が有意に改善。深睡眠時間の増加傾向
- プログラム終了後 2 日間において、睡眠時間、総睡眠時間が有意に増加。深睡眠時間の増加傾向
- プログラム中自律神経測定において 1 日目夜ヨガ後の交感神経成分の低下  
⇒リラックスして睡眠に入れた可能性

# 企業の利用をどう進めるか

## ニーズを聞き出し、ニーズに応える

- 研修なのか福利厚生なのか
- 研修の場合その目的は何か
- 研修プログラムを依頼するのかしないのか
  - プログラムまで自団体に請けたほうが売り上げは大きい
  - 必ずしも洗練された研修プログラムが求められているとは限らない
- 自分たちの一番の強みは何か
  - **企業が自前ではできないこと**を提案し選んでもらう
  - **「田舎らしさ」**はもっとも魅力的なコンテンツになりうる
  - **自然そのものや風景**も強み
  - 最重要コンテンツは**「人」**

でも自分達の強みは推す

# 企業に利用いただく農泊になるために

どのような目的で利用いただくのか

当校の真似  
は意味なし

## 社員のリフレッシュ

- 自然体験やアウトドアアクティビティ体験
- 地元の方との交流（文化体験や田舎生活体験）

## 社員研修

- リーダーシップやコミュニケーション力向上など

## 社員の健康増進

- 心肺機能強化
- メンタルヘルスの向上など

## 社員同士の交流促進

- レクリエーション
- アウトドアクッキングやBBQ

## 地域の課題解決（社会貢献）

- 草刈、間伐、溝さらい、雪かき等



# ネットワークについて

## 常に新しい情報を得るために

- グリーンツーリズム 【農水省】
- エコツーリズム 【環境省】
- サステナブルツーリズム 【環境省】
- アドベンチャーツーリズム 【観光庁】
- ジオツーリズム 【文科省】
- ブルーツーリズム 【国交省】
- 森林サービス産業 【林野庁】



参考：日本アウトドアネットワーク、日本環境教育フォーラム、自然体験活動推進協議会、日本ロングトレイル協会、環白山保護利用管理協会、ぎふの田舎へ行こう推進協議会など

# ネットワークについて（使えるものは何でも使う）

- NPO日本ロングトレイル協会 理事
- 自然体験活動推進協議会（CONE）副代表理事
- Japan Outdoor Leaders Award (JOLA) 運営委員会委員長
- NPO環白山保護利用管理協会 理事
- 安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター諮問委員
- 国際自然環境アウトドア専門学校教育課程編成委員
- 岐阜県森林サービス産業推進協議会設立準備会座長
- ぎふの田舎へ行こう推進協議会 幹事
- 川と山のぎふ自然体験活動の集い 実行委員
- 東海インタープリターネットワーク 世話人
- ひだの未来の森づくりネットワーク幹事
- 白川村立白川郷学園学校運営協議会 会長
- 白川村伝統的建造物保存地区審議会 委員
- 白川郷まるごと体験協議会 副会長
- 白山白川郷トレイルクラブ事務局長
- 合掌街道実行委員会副委員長
- 白山林道地元協力会委員
- 白山遭難対策協議会委員
- 白川村商工会 役員
- 白水の滝調査委員会委員
- 白川村区長会
- 鳩谷下組焼き鳥の会世話人 など

キーワード

自然・農山村・アウトドア・観光  
地域づくり・教育・自然保護

# まとめ

**そもそもなぜ農泊に取り組むのか？**

**農泊の先にある未来を地域の人に語れますか？**

**農泊は手段であって目的ではない**

**活動地域に対する具体的で素直な愛着が必須**

**地域の方々の協力を得て商品力アップへ**

**活力ある農山村は良いものです**



ご清聴ありがとうございました。

---